

政策の目的達成に向けて、県が主体となって取組成果を上げやすく、県民にとっても効果を実感しやすい指標を選定しました。また、具体的な取組の進捗状況を明確に把握するため、進捗状況の管理項目を設けています。ここに掲載されない目標値については、各施策・取組を所管する個別計画等の中で進捗を管理し、本計画の実効性を高めていきます。

政策 1

災害レジリエンス No.1 の実現

指標

指標	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】 オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）			
水害リスクが軽減される家屋戸数	29,393戸 (R6年度末)	50,386戸 (R16年度末)	河川整備計画に基づく河川整備により、水害リスクが軽減される家屋戸数の累計値
【施策2】 大規模災害を想定した事前防災の推進			
孤立集落の発生リスクが軽減される路線数	14路線 (R6年度末)	34路線 (R16年度末)	孤立集落の発生要因となる箇所における、落石等対策、土砂災害対策、耐震補強が完了し、孤立の発生リスクが軽減される路線数の累計値 ※迂回路のない行き止まりの県管理道路を対象とする
【施策3】 「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート			
水害や土砂災害からの「逃げ遅れ」による死者数	0人 (R6年度末)	0人 (毎年度0人の維持)	各年度における水害・土砂災害を要因とする死者数 ※避難所などにおける災害関連死を除く

進捗状況の管理項目

管理項目	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】 オール群馬による水害対策の加速化・高度化（流域治水の推進）			
河川整備計画に基づく河川整備延長	50.4km (R6年度末)	70.4km (R16年度末)	河川整備計画に基づく河川整備延長の累計値
防災指針の策定市町村数	13市町村 (R6年度末)	23市町村 (R16年度末)	これまでに防災指針を策定した市町村の累計値
【施策2】 大規模災害を想定した事前防災の推進			
孤立集落が発生するおそれのある路線における落石等対策の実施箇所数	54箇所 (R6年度末)	77箇所 (R16年度末)	孤立集落が発生するおそれのある路線を対象として、道路防災総点検に基づく要対策箇所のうち、対策が完了した箇所の累計値
孤立集落が発生するおそれのある路線における土砂災害対策の実施箇所数	30箇所 (R6年度末)	46箇所 (R16年度末)	孤立集落が発生するおそれのある路線を対象として、土砂災害対策推進計画に基づく要対策箇所のうち、対策が完了した箇所の累計値
孤立集落が発生するおそれのある路線における耐震補強済の橋梁数	5橋 (R6年度末)	15橋 (R16年度末)	孤立集落が発生するおそれのある路線を対象として、耐震化が未着手である橋梁のうち、耐震化が完了した橋梁数
【施策3】 「逃げ遅れゼロ」に向けた避難のサポート			
マイ・タイムラインの作成支援の進捗率	50% (R6年度末)	100% (R11年度末)	水害リスクのある全ての地区のうち、マイ・タイムライン作成支援を行った地区の割合
主体的に避難する力を育むための防災教育を支援した市町村数	5市町村 (R6年度末)	35市町村 (R16年度末)	水害や土砂災害による「逃げ遅れゼロ」に向け、主体的な判断で適切な避難行動をとれる児童を育成するために支援を実施した市町村の累計値

政策 2

持続可能で効率的なメンテナンス

指標

指標	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】予防保全に基づく長寿命化			
道路橋における老朽化に伴う劣化に起因した全面通行止め件数	0件 (R5年度末)	0件 (毎年度0件の維持)	老朽化に伴う劣化に起因した全面通行止めの件数 (災害、交通事故等に起因する通行止めは含まない)
【施策2】効率的な維持管理			
—	—	—	—
【施策3】新技術を活用したインフラメンテナンス			
—	—	—	—

進捗状況の管理項目

管理項目	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】予防保全に基づく長寿命化			
道路施設の健全率	95% (R6年度末)	95% 以上の維持 (R16年度末)	道路施設における法定点検施設のうち、健全度区分がⅠ判定(健全)とⅡ判定(予防保全段階)の施設割合
舗装の健全率	96% (R6年度末)	96% 以上の維持 (R16年度末)	全舗装延長のうち、健全度区分がⅠ判定(健全)とⅡ判定(表層機能保持段階)の舗装延長の割合
河川構造物の健全率	99% (R6年度末)	99% 以上の維持 (R16年度末)	全管理河川延長のうち、措置段階(対策が必要な状態)以外の河川延長の割合
砂防施設の健全率	92% (R6年度末)	92% 以上の維持 (R16年度末)	砂防堰堤、がけ崩れ防止施設、地すべり防止施設のうち、健全度がA判定(対策不要)とB判定(経過観察)の施設数の割合
【施策2】効率的な維持管理			
地域住民参加による維持管理プロジェクトへの参加団体数	1,062団体 (R6年度末)	1,062団体 以上の維持 (R16年度末)	自治会除草及び花と緑のフリーン作戦の参加団体数の合計
【施策3】新技術を活用したインフラメンテナンス			
官民連携による新技術の試行件数	2件 (R6年度末)	24件 (R11年度末)	「インフラメンテナンスの産業化」に向けた官民マッチングにおける新技術試行の発注件数 ※試行：施工実績支援、実施検証

政策 3

未来につながる魅力的なまちづくり

指標

指標	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】エリア価値を創造する未来投資			
リーディングプロジェクトエリアの地価	84千円/㎡ (R5年度末)	84千円/㎡以上 (R16年度末)	リーディングプロジェクトのエリア内で県が支援策を実施する地域、及びその周辺の公示地価の平均値 ※計画期間当初から県支援策を実施している地域（前橋市・高崎市）を対象とする
【施策2】持続可能で暮らしやすいまちづくり			
市街化区域内人口密度	67.3人/ha (R5年度末)	60人/ha以上の維持 (R16年度末)	可住地面積当たりで集計した市街化区域内の人口密度
【施策3】地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備			
渋滞損失時間の削減量	年間 0 人時間 (R6年度末)	年間 106.9万人時間 (R16年度末)	主要渋滞箇所の対策事業（バイパス整備や現道拡幅、交差点改良等）により削減される年間の渋滞損失時間
【施策4】誰もが安全に移動できる環境づくり			
安全な通学環境の整備率	77% (R6年度末)	95% (R16年度末)	法指定通学路の歩道整備と中高生の通学経路及び高校半径3km圏内の自転車通行空間整備が完了した割合

参考指標	現状値	目標値	指標の説明
地域幸福度（Well-Being）指標	6.3 (R6年度末)	—	デジタル庁が提供する地域幸福度（Well-Being）指標における群馬県（全域）の「幸福度」「生活満足度」の平均値

進捗状況の管理項目

管理項目	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】エリア価値を創造する未来投資			
リーディングプロジェクトで実施する県支援策の完了件数	0件 (R6年度末)	4件 (R16年度末)	関係者の連携・共創で取り組むリーディングプロジェクトの中で実施する県の支援策が完了した事案件数
【施策2】持続可能で暮らしやすいまちづくり			
立地適正化計画策定市町村数	13市町村 (R6年度末)	23市町村 (R16年度末)	これまでに立地適正化計画を策定した市町村の累計値
土地区画整理完了率	86% (R6年度末)	93% (R16年度末)	土地区画整理事業の計画面積に対する施工済（換地処分公告）面積の割合
【施策3】地域の暮らしや経済活動を支えるインフラ整備			
高速交通網を補完する広域道路ネットワークの整備率	88% (R6年度末)	96% (R16年度末)	広域道路交通計画の広域道路（基幹道路）に位置付けられている「高規格道路」及び「一般広域道路」のうち、整備が完了した延長の割合
主要渋滞箇所の対策率	21% (R6年度末)	34% (R16年度末)	「群馬県域移動性（モビリティ）・安全性向上検討委員会」（R5）で特定された主要渋滞箇所県事業で対策する箇所（260箇所）のうち、対策事業が完了した箇所の割合
【施策4】誰もが安全に移動できる環境づくり			
通学路の歩道整備延長	617.2km (R6年度末)	676.4km (R16年度末)	法指定通学路延長のうち、歩道もしくはグリーンベルト等簡易整備により対策済みの延長
中高生の通学経路における自転車通行空間の整備延長	172.4km (R6年度末)	301.3km (R16年度末)	自転車ネットワーク路線における中高生の学校指定通学経路及び高校半径3km圏内延長のうち、自転車通行空間の整備済み延長 ※高校半径 3km 圏内は自動車交通量 1 万台 / 12h 以上かつ自転車事故が多い区間
自転車用ヘルメットの着用率	40% (R6年度末)	70% (R16年度末)	警察庁が発表している自転車用ヘルメット着用率

政策 4

美しく良好な環境の保全

指標

指標	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】豊かで美しい自然環境の保全・再生			
—	—	—	—
【施策2】健全な水循環の維持・回復			
—	—	—	—
【施策3】地球温暖化対策の推進			
県内温室効果ガス排出量	14,268 千トン-CO ₂ (R3年度末)	9,823 千トン-CO ₂ (R12年度末)	群馬県地球温暖化対策実行計画 2021-2030における地球温暖化 対策推進の数値目標

進捗状況の管理項目

管理項目	現状値	目標値	指標の説明
【施策1】豊かで美しい自然環境の保全・再生			
多自然川づくりに取り組んだ河川整備延長	50.4km (R6年度末)	70.4km (R16年度末)	多自然川づくりに取り組んだ河川整備延長の累計値
【施策2】健全な水循環の維持・回復			
汚水処理人口普及率	85% (R5年度末)	92% (R14年度末)	汚水処理施設で生活排水の処理が可能な県民の県人口に対する割合
【施策3】地球温暖化対策の推進			
県営ダム及び砂防堰堤を活用した水力発電の実施件数	2件 (R6年度末)	4件 (R8年度末)	県土整備部で所管する県営ダム、砂防堰堤を活用した水力発電の件数
下水道汚泥のリサイクル率	100% (R5年度末)	100%の維持 (R16年度末)	県で管理する流域下水道施設から排出される下水道汚泥の発生重量に対してリサイクルされた割合

方 策 1

社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成

指 標

指標	現状値	目標値	指標の説明
共 通	【方策1-1】建設産業の働き方改革		
	【方策1-2】建設現場の生産性向上		
	【方策1-3】建設産業の魅力の発信		
災害時に迅速かつ機動的に対応可能な建設業者数	287業者 (R6年度末)	287業者 ^{の維持} (R16年度末)	災害応急対策業務に関する細目協定を締結している建設業者数

進捗状況の管理項目

管理項目	現状値	目標値	指標の説明
【方策1-1】建設産業の働き方改革			
週休2日制現場の達成率	84% (R6年度末)	100% (R11年度末)	建設現場における週休2日制現場対象工事案件について、週休2日制現場を達成した割合
【方策1-2】建設現場の生産性向上			
ICT活用工事（発注者指定型）の実施率	95% (R6年度末)	100% (R9年度末)	建設現場におけるICT活用工事（発注者指定型）の対象工事案件について、実施した工事の割合
【方策1-3】建設産業の魅力の発信			
—	—	—	—

あ

◆ IoT（アイオーティー）

Internet of Things（インターネット オブ シングス）の略。現実世界の様々なモノがインターネットとつながること。

◆ ICT（アイシーティー）

Information and Communications Technology（インフォメーション アンド コミュニケーションズ テクノロジー）の略。コンピュータや通信ネットワークなど情報処理や通信に関連する技術、産業、サービス等の総称。

い

◆ 溢水（いっすい）

川などの水があふれ出ること。堤防がないところでは「溢水」、堤防のあるところでは「越水」という。

◆ インクルーシブネス

包摂性を意味する言葉で、年齢、性別、国籍、障害の有無などの違いによって排除されることなく、すべての人が社会に参画する機会を持つこと。

◆ インフラツーリズム

ダムや道路などの既存の社会資本（インフラ）、建設中の現場などを対象としたツアーや現場見学会のこと。

う

◆ ウィークリースタンス

例えば休前日に新たな依頼をしないなど、受発注者間で1週間のルールを定めて計画的に業務を進めることで、働く環境の改善を図る取組のこと。

◆ ウェルビーイング

身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来に渡る持続的な幸福を含む概念のこと。

◆ ウォーターPPP

水道や下水道などの水道分野における官民連携手法で、長期契約や性能発注を通じて、維持管理と更新を一体的に行う方式のこと。

◆ 雨水貯留浸透施設

雨水が河川や下水道に流入する量を抑えるために、雨水を一時的に貯める施設や地下へ浸透させる施設のこと。

え

◆ AI（エーアイ）

Artificial Intelligence（アーティフィシャル インテリジェンス）の略。人工知能とも訳され、学習・推論・判断といった人間の知能をもつ機能を備えたコンピュータシステムのこと。

か

◆ カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させて、実質的な排出量をゼロにすること。

◆ 河川整備基本方針

河川の保全、利用、整備について基本となるべき方針に関する事項を定めるもの。

◆ 河川整備計画

河川整備基本方針に沿って、中期的な計画として概ね20年から30年間で実施する河川整備の目標や具体的な内容を定めるもの。本県では全10圏域で策定済み。

き

◆ 危機管理型水位計

河川における水位観測箇所の充実を図るための洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計のこと。河川氾濫のおそれがある箇所の水位をきめ細かく把握するために全国で設置が進められている。

◆ 居住誘導区域

立地適正化計画に定めるもので、人口減少の中にあっても一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導すべき区域。

◆ 希少野生動植物

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づき、国内に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物のうち、人為の影響により存続に支障を来す事情が生じていると判断される動植物のこと。

◆ 緊急輸送道路

地震などの災害直後から、避難・救助や物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保する道路のこと。

<

◆ グリーンイノベーション

環境と経済の持続的な好循環を創出し、経済社会全体の変革を促す取組のこと。

◆ グリーンインフラ

社会における様々な課題の解決に向け、自然環境が有する機能（生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成、気温上昇の抑制等）を活用しようとする考え方のこと。

け

◆ 景観行政団体

景観に関するまちづくりを進める基本的な計画である景観計画の策定など、地域の景観行政を推進する地方公共団体のこと。本県の景観行政団体は前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、甘楽町、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町、玉村町、板倉町の計22団体。（令和6年12月末現在）

◆ 建設キャリアアップシステム（CCUS）

建設業に従事する技能者の現場における就業履歴や保有資格、社会保険加入状況などを、技能者に配布するICカードに登録し、現場に配置したカードリーダーにタッチすることで、日々の仕事の履歴を蓄積できるシステムのこと。

こ

◆ コミュニティプラント

住宅団地などの一定規模の計画人口の住宅等から排出される生活排水を処理する、市町村が設置・管理する小規模な污水处理施設のこと。

さ

◆ サーキュラーエコノミー（循環経済）

製品の設計段階から廃棄物が発生しない前提で資源を循環させ、持続可能な社会をつくるとともに、付加価値を生み出すことで経済的な成長もめざす経済システムのこと。

し

◆ GPS（ジーピーエス）

Global Positioning System（グローバル ポジショニング システム）の略。地球上のどこにいても現在地や時刻情報を取得できる衛星測位システムのこと。

◆ 市街化区域

すでに市街地を形成している区域及び概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。

◆ 市街化調整区域

原則、市街化を抑制すべき区域のこと。住宅地や大規模商業施設の整備などの開発行為は原則として行わず、道路や公園などの都市施設の整備も原則として行われない。新たに建築物を建てることを極力抑える区域であるが、一定規模までの農林水産関連施設の建築等は可能である。都市計画区域を「市街化区域」と「市街化調整区域」に区分することを「区域区分」又は「線引き」という。

◆ 次世代モビリティ

電動キックボードなどの小型車両や自動運転技術を搭載した車両のこと。

◆ 指定管理者制度

地方公共団体等が指定した民間の会社や団体に、公園や文化施設などの地方公共団体等が管理している公の施設の管理を委任する制度のこと。公の施設の管理に民間のノウハウや技術力を活用することで、経費の節減等を図りつつ、住民サービスの向上を図ることなどを目的とする。

◆ 首都直下地震

東京湾北部を震源として発生すると推測されているマグニチュード7クラスの直下型地震のこと。

◆ 小水力発電

河川、農業用水、砂防堰堤、上下水道などで利用される水のエネルギーを利用し、発電する方法のこと。

◆ 浸水想定区域

想定し得る最大規模等の降雨により氾濫した場合に浸水が想定される区域のこと。

す

◆ スtock効果

整備された道路、河川、ダム、下水道などの社会資本が機能することで、完成直後から継続的かつ中長期に渡って得られる、移動時間の短縮や浸水被害の防止などの効果のこと。一方、公共事業自体により、短期的に経済全体を拡大させる効果を「フロー効果」という。

◆ スマートIC（スマートインターチェンジ）

高速道路本線やサービスエリア等から乗り降りができるようにETC搭載車の利用に限定したインターチェンジのこと。

せ

◆ 設計VE

道路、河川等の社会資本の整備に当たり、経済性を追求しつつ、利用者の求める必要な機能を確実に達成することを目的に、チーム活動により設計や計画等を検討する取組のこと。検討に当たっては、目的物の機能を低下させずにコストを低減する又は同等のコストで機能を向上させるなど、目的物の価値（機能／コスト）を高めることを原則とする。

◆ ZEB Oriented（ゼブオリエンテッド）

従来の建物に必要なエネルギーを100として、省エネ（外壁等の高断熱化や高効率な省エネルギー設備の導入）により必要なエネルギーを70％以下にしたもの。（対象は、延床面積が10,000㎡以上の建物。）

そ

◆ ソーシャル・インパクト・ボンド方式

社会課題・地域課題の解決を図ることを目的に、民間事業者が投資家等から調達した資金で行政サービスを提供し、行政が当該サービスが生み出す成果に応じて支払いを行う官民連携手法のこと。

た

◆ 多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川の整備や維持管理を行うこと。

ち

◆ 地域生活圏

第三次国土形成計画（全国計画）（令和5年7月28日閣議決定）で掲げている「デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成」に示された地域の在り方のこと。人口減少や高齢化が加速する地方において、市町村界にとらわれず、地域公共交通や買い物、医療・福祉・介護、教育等の暮らしに必要なサービスが持続的に提供される「地域生活圏」の形成を目指しており、圏内人口規模10万人程度以上を想定している。

◆ 地域防災計画

災害対策基本法に基づき、都道府県や市町村が作成する防災に関する総合的な計画のこと。

◆ 調節池

河川を流れる水が溢れるおそれがある場合に、河川の水の一部を一時的に貯め、河川の水位上昇を抑えることにより水害リスクの軽減を図る施設のこと。

て

◆ DID（ディーアイディー）

人口が集中している地区のことで、人口密度が1km²当たり4,000人以上の地区が互いに隣接し、それらの隣接した地域の人口の合計が5,000人以上となる地区のこと。

◆ 低未利用地

適正な利用が図られるべき土地であるにもかかわらず、長期間に渡り利用されていない「未利用地」と、周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況など）が低い「低利用地」の総称。

◆ デジタルツイン

現実世界から収集したデータを基に、コンピュータ上で現実世界と同じ環境を再現する技術のこと。現実世界と対になる「双子（ツイン）」をデジタル空間上に構築し、モニタリングやシミュレーションを行うことができる。

◆ DX（デジタルトランスフォーメーション）

「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念のこと。

と

◆ 道路啓開

地震等により道路が瓦礫などでふさがってしまった際に、早急に最低限の瓦礫処理を行うとともに、簡易な段差の解消などを行い、救助や物資輸送を担う緊急車両等の通行を確保すること。

◆ ドーナツ経済学

イギリスの経済学者であるケイト・ラワース氏が提唱した経済モデルで、環境の限界（地球の環境上限）と社会的な基礎（人々が必要とする最低限の生活基準）の間で成長を目指す考え方のこと。

◆ 特定都市河川・特定都市河川流域

都市化の進展による人口・資産の集積、集中豪雨の増加等により、通常の河川改修のみでは浸水被害の防止が困難なことを踏まえ、特定都市河川浸水被害対策法に基づき国土交通大臣・県知事が指定する河川及びその流域のこと。

◆ 都市機能誘導区域

立地適正化計画に定めるもので、医療・福祉・商業等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。

◆ 土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した際に住民に危害が生じるおそれがある区域のこと。土砂災害から住民の命を守るため、危険の周知や警戒避難体制の整備が行われる。（通称イエローゾーン）

◆ 土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した際に建築物が損壊し、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域のこと。一定の開発行為の制限及び居室を有する建築物の構造の規制が行われる。（通称レッドゾーン）

◆ トランジットモール

一般車両の通行を制限し、歩行者や公共交通を優先した道路のこと。良好な歩行者空間の確保、公共交通の利便性向上などにより、中心市街地の活性化を図る目的で導入されることが多い。

な

◆ ナショナルサイクルルート

日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートのこと。新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルートを国が指定する。

◆ 南海トラフ地震

駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震のこと。

は

◆ Park-PFI（パークピーエフアイ）

公募により選定した民間事業者等が、国や地方公共団体が管理する都市公園内において、飲食店や売店等を整備し、その施設からの収益で、周辺の園路や広場などの公共部分を一体的に整備・維持管理する制度のこと。

◆ バイオマス

「生物資源（bio）の量（mass）」を表す概念で、木材などの有機資源そのものを指すが、主にエネルギー資源としての意味で使用される。

ひ

◆ PFI方式

公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、効率的・効果的に公共サービスを提供する手法のこと。PFI方式が「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づく手続きを必要とするのに対し、Park-PFIは「都市公園法」の設置管理許可に基づいており、この2つは制度が異なる。

◆ BOD（ビーオーディー）

Biochemical Oxygen Demand（バイオケミカル オキシジェン デマンド）の略。水中の汚濁物（有機物）が微生物によって分解されるときに必要な酸素の量のこと。河川水や排水、下水などの汚濁の程度を示すもので、数値が大きいほど水が汚れていることを示す。

◆ BCP（ビーシーピー）

Business Continuity Plan（ビジネス コンティニューイティー プラン）の略。企業等が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

◆ ヒートアイランド現象

都市化による地表面の人工化やエネルギー消費に伴う排熱の増加により、都市の中心部の気温が郊外に比べて高くなる現象のこと。

◆ BIM／CIM（ビム・シム）

Building／Construction Information Modeling, Management（ビルディング／コンストラクション インフォメーション モデリング マネジメント）の略。計画・調査・設計段階から、3次元モデルを導入することに

より、その後の施工、維持管理・更新の各段階においても3次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図るもの。

◆ 費用対効果 (B/C)

事業に要する費用に対して、どれくらいの効果が得られるのかを比較する指標のこと。英語の「Benefit by Cost」の略でB/C（ビーバイシー）とも表現され、この値を算出する手法を費用便益分析という。

◆ ビルド・バック・ベター

災害発生後の復興段階において、次の災害発生に備えて、災害に対してより強靱な地域づくりを行うという考え方のこと。「より良い復興」とも呼ばれる。2015年に仙台で開催された第3回国連防災世界会議で提唱され、防災の世界での世界標準の言葉となった。

ふ

◆ フレックス工期

発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と実工事期間を合わせた期間）内で、受注者が工事の開始日と完成日を柔軟に設定できる契約方式のこと。

ほ

◆ 包括的民間委託

受託した民間事業者の創意工夫やノウハウを活用し、効率的・効果的に施設の運営や管理ができるよう、複数の関連業務や施設の管理を一体で委託すること。

◆ 防災拠点

災害時における医療活動、支援活動などの拠点となる施設や場所のことを防災拠点といい、応急対策の活動体制の確立、救助・救急医療及び消火活動のための拠点となる施設や箇所のことを第1次防災拠点という。

◆ 防災指針

立地適正化計画により居住や都市機能の立地誘導を図る上で、まちの災害リスクに対して計画的かつ着実に必要な防災・減災対策に取り組むための指針。

◆ 防災ハザードマップ

災害時に住民等が円滑に避難できるよう、災害が起きそうな場所や想定される被害の程度、避難所等をわかりやすく表示した地図のこと。

◆ 保健医療圏

人口規模や受療行動等の地域の特性や保健医療需要に対応して、病院などの保健医療資源の適正な配置や医療提供体制の体系化を図るための地域的な単位のこと。1次から3次まで3つの圏域が設定されるが、群馬県では限られた医療資源を有効に活用するため、脳卒中や周産期医療など特定の分野において、2次保健医療圏よりも広域的かつ柔軟に対応する2.5次保健医療圏を設けている。

ま

◆ マイ・タイムライン

台風などの接近に合わせて、いつ、何をするのかをあらかじめ時系列で整理した住民一人ひとりの避難行動計画のこと。

み

◆ みお筋

水深が他の部分に比べて相対的に低い、平常時の河川の流路。

◆ ミッシングリンク

道路ネットワークの中で、未整備区間で途中で途切れている区間のこと。

や

◆ 矢羽根型路面表示

車道における自転車通行位置を自転車利用者とドライバー双方に示す路面に描かれた表示のこと。

ゆ

◆ ユネスコエコパーク

正式名を生物圏保存地域といい、自然の恵みを守り、かつ合理的かつ持続可能に利用するなど、自然と人間社会の共生を図ることを目的に、ユネスコが認定・登録する地域のこと。群馬県においては、以下の地域が登録されている。

- ・みなかみユネスコエコパーク（みなかみ町）
- ・志賀高原ユネスコエコパーク（中之条町、草津町、嬬恋村）

よ

◆ 余裕工期

出水期や支障物件の移転に要する期間などにより、工事の始期が限定される工事において、準備期間を含めた適切な工期を確保するため、発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と実工事期間を合わせた期間）内で、発注者が工事の開始日と完成日を指定する契約方式のこと。

ら

◆ ライフライン

電気・ガス・水道、通信設備、交通網など、人々が日常生活を送る上で重要な施設のこと。

◆ ラムサール条約

国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物を保全することを目的とした国際条約のこと。本条約に基づき、群馬県では以下の湿地が国際的に重要な湿地として登録されている。

- ・尾瀬（片品村）
- ・渡良瀬遊水地（板倉町）
- ・芳ヶ平湿地群（中之条町、草津町）

り

◆ 立地適正化計画

居住機能や医療・福祉・商業、公共交通等の様々な都市機能の誘導により、都市全体を見渡し、持続可能な都市構造を目指すための包括的なマスタープラン。

◆ 流域治水

気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、集水域から氾濫域まで河川の流域のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策のこと。

わ

◆ ワイズスペンディング

経済学者のケインズ氏が不況対策として財政支出を行う際に用いた言葉であり、将来的に利益や利便性を生み出すことが見込まれる事業や分野を選択し、最も費用対効果の高い支出を行う考え方のこと。群馬県では、社会資本整備において、複合的な投資効果の追求により、実施すべき事業を厳選することを意味する。

※主要事業一覧に掲載している継続事業については、以下の個別計画で完成予定年度を明記しています。

■ 群馬県道路整備アクションプログラム

国・県・市町村が実施する道路整備を今後10年間でどのように進めていくかを具体的に示した計画です。「第2部 地域計画編」において、継続中の道路事業の完成予定年度を掲載しています。

群馬県道路整備アクションプログラムは、以下のURLまたは右図の二次元バーコードからアクセスしてください。

【URL】 <https://www.pref.gunma.jp/page/11116.html>



■ 群馬県国土強靱化地域計画

群馬県の国土強靱化を推進するための指針となる計画です。完成予定年度は、計画本文ではなく別冊（国土強靱化のために実施する主な事業一覧）に掲載しています。

群馬県国土強靱化地域計画は、以下のURLまたは右図の二次元バーコードからアクセスしてください。

【URL】 <https://www.pref.gunma.jp/page/8154.html>



群馬県における社会資本整備の歩み（平成15年度～令和6年度）

年度		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25		
群馬県内	計画				ぐんま県土整備ビジョン（社会資本ストックの有効活用による堅実な成長）									
							はばたけ群馬・県土整備プラン 2008-2017（国際的な産業競争力の強化に向けた7つの交通軸の整備・強化）							
													はばたけ群馬・	
	事業の進捗状況	NEXCO 国												
	事業の進捗状況	県												
主要な出来事	自然災害状況													

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
県土整備プラン 2013-2022（長寿命化の推進）										
はばたけ群馬・県土整備プラン 2018-2027（県民の多様な移動手段の確保）										
ぐんま・県土整備プラン 2020（気象災害の新たな脅威にしっかり対応するための防災・減災対策の加速）										
7つの交通軸構想										
長寿命化計画の策定										
● 砂防関係施設・ヘリポート										
◎ 太田強戸スマートIC H30.7供用開始										
◎ 駒寄スマートIC大型車対応 R3.7供用開始										
◎ 甘楽スマートIC R5.3供用開始										
◎ 国道17号上武道路 H29.3全線開通										
◎ ハッ場ダム R2.3完成										
国道17号新三国トンネル◎ R4.3開通										
◎ 国道17号神流川橋 R4.12開通										
◎ 東毛広域幹線道路 H26.8全線開通										
◎ 県道高崎渋川線バイパス H30.4全線開通										
◎ 国道254号バイパス（高崎～富岡） H30.3全線開通										
◎ 渡良瀬幹線道路 笠懸数塚工区 H30.3開通										
◎ 県道桐生伊勢崎線 阿左美バイパス H30.3開通										
◎ 国道354号 板倉北川辺バイパス H30.3開通										
上信自動車道 金井バイパス・川島バイパス・祖母島～箱島バイパス R2.6開通 ◎										
◎ 県道川原畑大戸線（大柏木川原湯トンネル） R2.12開通										
◎ 西毛広域幹線道路（安中工区） R3.3開通										
県道寺尾藤岡線バイパス（山名工区） R7.3開通 ◎										
◎ 県道伊勢崎深谷線（上武大橋） 老朽橋架替 R4.3開通										
上信自動車道（吾妻西バイパス） R6.3開通 ◎										
西毛広域幹線道路（高崎西工区） R6.3開通 ◎										
渡良瀬幹線道路（笠懸数塚工区） R6.3開通 ◎										
寺沢川 R4完成										
石田川調節池 R5完成										
富岡製糸場と絹産業遺産群世界遺産に登録										
芳ヶ原湿地群ラムサール条約湿地に登録										
温井川 H29完成										
上野三碑 ユネスコ「世界の記憶」に登録										
台風第21号 H29.10										
本白根山噴火 H30.1										
令和元年東日本台風 R1.10										
○ Gメッセ群馬 R2.3完成										
大震災を教訓とした防災・減災対策										
第4次 社会資本整備重点計画（「コンパクト＋ネットワーク」、「対流促進型国土」の形成）										
第5次 社会資本整備重点計画（インフラ分野のDX、ストック効果の最大化）										
圏央道 稲敷IC～神崎IC H26.4開通 相模原栗川IC～高尾山IC H26.6開通 久喜白岡JCT～境古河IC H27.3開通 寒川北IC～海老名JCT H27.3開通										
圏央道 神崎IC～大栄JCT H27.6開通 桶川北本IC～白岡菫蒲IC H27.10開通										
圏央道 境古河IC～つくば中央IC H29.2開通										
東関東道 鉾田IC～茨城空港北IC H30.2開通										
東京外環道 三郷南IC～高谷JCT H30.6開通										
上信越道 新井PA～上越JCT H30.12 4車線化開通										
上信越道 信濃町IC～新井PA R1.12 4車線化開通										
圏央道 久喜白岡JCT～幸手IC R5.3 4車線化開通 境古河IC～板東IC R5.3 4車線化開通										
北陸新幹線 金沢～敦賀 R6.3開業										
北陸新幹線 長野～金沢 H27.3開業										
働き方改革推進 H28.1～										
働き方改革関連法成立 H30.7～ 防災・減災国土強靱化3か年緊急対策 H30.12～										
新・担い手3法制定 R1.6～										
防災・減災国土強靱化5か年加速化対策 R2.12～										
東京オリンピック R3.7～8										
盛土規制法制定 R4.5～										
建設業の時間外労働の上限規制 R6.4～										
第三次 担い手3法制定 R6.6～										
8月豪雨 H26.8										
関東・東北豪雨 H27.9										
熊本地震 H28.4										
九州北部豪雨 H29.7										
大阪北部地震 H30.6										
房総半島台風 R1.9										
7月豪雨 R2.7										
7月豪雨 R3.7										
7月豪雨 R4.7										
台風第2号 R5.5										
台風第7号 R5.8										
台風第12号 R5.9										
能登半島地震 R6.1										
前線による大雨 R6.6										
日向灘地震 R6.8										
台風第5号 R6.8										
台風第10号 R6.8										
奥能登豪雨 R6.9										
日向灘地震 R7.1										
台風第7号 R5.8										
台風第12号 R5.9										
台風第14号 R4.9										
台風第15号 R3.8										
台風第9号 R2.9										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号 R5.9										
台風第15号 R4.9										
台風第9号 R3.8										
台風第10号 R2.9										
台風第13号										

ぐんま・県土整備プラン2025

—災害に強く安定した経済活動が可能な群馬県の実現—

■ 令和7年3月

■ 発行・編集 群馬県

〒371-8570 前橋市大手町一丁目1番1号

県土整備部建設企画課政策・DX推進係 電話 027-226-3535（直通）

■ 群馬県ホームページ —ぐんま・県土整備プラン2025—

<https://www.pref.gunma.jp/page/690396.html>

